

問題 3

I. 情報理論に関する以下の問に答えよ。無記憶情報源 $X = \{0, 1\}$ における i 番目 (ただし $i = 1, 2, 3, \dots$) の信号を X_i とし, $X_i = 0$ となる確率を p , $X_i = 1$ となる確率を $1 - p$ とする。近似値として $\log_2 3 = 1.6$, $\log_2 5 = 2.3$, $\log_2 7 = 2.8$ を用いてよい。

(1) $p = 0.75$ のときのエントロピー $H(X)$ を求めよ。

(2) $p = 0.75$ のとき, X の連続した 2 つの信号をひとまとめにした $\{00, 01, 10, 11\}$ の 4 値を効率よく符号化したい。符号化の例を示し, そのときの平均符号長を求めよ。

X を入力とする無記憶通信路 C を考える。その出力を $Y = \{0, 1\}$, i 番目の出力信号を Y_i としたとき, 80% の確率で $Y_i = X_i$ となるが, 20% の確率で X_i にかかわらず $Y_i = 1$ となる。

(3) $p = 0.75$ のときのエントロピー $H(Y)$ を求めよ。また, 相互情報量 $I(X; Y)$ を求めよ。

(4) $I(X; Y)$ を最大化する p は 0.5 より大きいか小さいか答えよ。根拠も簡潔に述べよ。

II. 信号処理に関する以下の問に答えよ。時間 t および角周波数 ω は実数、 j は虚数単位であり、複素数 a の複素共役を a^* と表す。また、複素関数 $x(t)$ のフーリエ変換 $X(\omega)$ とそのフーリエ逆変換を次式で定義する。

$$X(\omega) = \mathcal{F}[x(t)] = \int_{-\infty}^{\infty} x(t)e^{-j\omega t} dt \quad (\text{i})$$

$$x(t) = \mathcal{F}^{-1}[X(\omega)] = \frac{1}{2\pi} \int_{-\infty}^{\infty} X(\omega)e^{j\omega t} d\omega \quad (\text{ii})$$

(1) $\mathcal{F}^{-1}[X^*(\omega)] = x^*(-t)$ が成り立つことを示せ。

(2) $x(t)$ が実関数のとき、 $X^*(\omega) = X(-\omega)$ が成り立つことを示せ。

アナログフィルタ A のインパルス応答を実関数 $f(t)$ で表す。A の応答が因果律を満たすことから、 $t < 0$ において $f(t) = 0$ である。また、 $F(\omega) = \mathcal{F}[f(t)]$ の実部および虚部をそれぞれ $F_1(\omega)$ 、 $F_2(\omega)$ とおくと、 $F(\omega) = F_1(\omega) + jF_2(\omega)$ である。

(3) $f_1(t) = \mathcal{F}^{-1}[F_1(\omega)]$ を、 $f(t)$ を用いて表せ。

(4) $f_2(t) = \mathcal{F}^{-1}[F_2(\omega)]$ を、 $f(t)$ を用いて表せ。

(5) $F_1(\omega)$ が既知で $F_2(\omega)$ が未知のとき、フーリエ変換とフーリエ逆変換を用いることで $F_1(\omega)$ から $F_2(\omega)$ を求めることができる。その手続きを3行程度で説明せよ。必要に応じて図や式を用いても良い。

ある実信号 $s_1(t)$ の角周波数帯域が $|\omega| \leq \omega_B$ である、すなわち、 $|\omega| > \omega_B$ のとき $\mathcal{F}[s_1(t)] = S_1(\omega) = 0$ とする。この信号により角周波数 ω_c ($\gg \omega_B$)の搬送波を変調する状況を考える。

(6) 実信号 $d(t) = s_1(t) \cos \omega_c t$ のフーリエ変換 $D(\omega) = \mathcal{F}[d(t)]$ を $S_1(\omega)$ を用いて表せ。また、 $D(\omega)$ の角周波数帯域が $\omega_c - \omega_B \leq |\omega| \leq \omega_c + \omega_B$ となることを示せ。

(7) $s_1(t)$ が既知であれば、適切な実信号 $s_2(t)$ を準備し、実信号 $u(t) = s_1(t) \cos \omega_c t + s_2(t) \sin \omega_c t$ を生成することで、 $U(\omega) = \mathcal{F}[u(t)]$ の角周波数帯域を $\omega_c \leq |\omega| \leq \omega_c + \omega_B$ に制限することができる。 $s_1(t)$ から $s_2(t)$ を求める手続きを3行程度で説明せよ。必要に応じて図や式を用いても良い。